

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成24年度 第1回医学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年4月26日（木）10：00～12：30

場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者：内山委員長、吉岡委員、高松委員（ネット出席）、渡辺委員（ネット出席）

（事務局 井端、森下、平田）

III. 検討事項

今回は前年度に検討した「医学教育における教育改善モデル」に「授業の点検・評価・改善の仕組み」を加えるため、3つのモデルについて以下のとおり検討した。

1. 授業の点検・評価・改善の仕組みについて

（1）授業モデル：その1

本モデルは、課題探究・解決能力を獲得することを目的として、初年次を中心に、医師としてとるべき対応について実習、シミュレーション、ロールプレイ等の対面学習とICT活用による振り返りを組み合わせることにより、課題の洗い出しの経験、グループ学習を通じた振り返りを繰り返し行わせる提案となっている。

そこで、本モデルの授業の点検・評価・改善については、課題探究・解決能力が身についたかどうかを2年次以降の関連科目教員が確認する仕組みとすることにし、以下の通り文章化した。

「授業の点検・評価・改善」

2年次以降の関連課目の講義・実習、チュートリアル、臨床実習等の担当教員が、Web上で共有される学習ポートフォリオへの記載内容を参考にして、学生の自立的な課題解決能力の達成状況について点検・確認する。その結果を1年次の担当教員宛にフィードバックし、授業の改善を促す。

（2）授業モデル：その2

患者中心のチーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につけることを目的として、大学間コンソーシアムや、教員連携の統合授業プラットフォーム、チューターによる支援のもとで、初年次から臨床教育までの段階で関連分野の学生と協同してチーム討論、症例検討等を対面やネット上で行う提案となっている。

そこで、本モデルの授業の点検・評価・改善については、支援しているチューターや医療チームでの相互評価、医療従事者により評価を行うことにし、学外機関の意見も交えた改善を行う仕組みとし、以下の通りとした。

「授業の点検・評価・改善」

授業の点検・評価は、チューターの意見、学習ポートフォリオ、バーチャル医療チームによる相互評価、医療従事者の評価をもとにネット上で行う。改善は、学部、大学を超えた教育課程の見直しを通じて、学外機関・関係者を交えたコンソーシアムで行う。

(3) 授業モデル：その3

問題志向型システムと臨床判断を実現するため、基本的診療技能として必要な臨床推論、臨床判断の能力を身に付けることを目的として、

臨床実習直前の学年次を対象に、Team-based learning と I C T を活用した活性化したチーム討論を通じて、臨床的思考のプロセスを分解し、実践の文脈で思考判断させる教育を実施する提案となっている。

そこで、本モデルの授業の点検・評価・改善については、レスポンスアナライザーによる学生の回答や授業評価、思考などを教員が共有して授業を振り返り、教員同士の意見交流を通じた改善を行うことにし、以下のとおり文章化した。

「授業の点検・評価・改善」

この授業の点検・評価は、レスポンスアナライザーを通してタイムリーに集積・蓄積された学生の回答、授業評価、思考・特性などの情報を素材にしてこれを共有化する中で、教員がそれぞれの授業を振り返る。改善は、ネット上に教員同士が意見交流するプラットフォームでテーマ別に意見を出し合い、授業内容、授業方法ははじめカリキュラムフロー、カリキュラムの枠組みまでの見直しを通じて行う。

2. 今後の委員会の検討内容

医学分野での3つのモデルをより説得力のあるものとするため、教育の改善以外に教員自身の努力についてどのように行っていくべきかについても検討し、医学分野の教員の教育力として、次回委員会から検討していきたい旨、事務局より説明した。また、教育力については、「医学教員に期待される学識」と「教育改善モデル実現に求められる教育力」の2つについて検討することにしており、医学教員に期待される学識については、一般に医学教員に求められる教育力と位置づけ、参考例として、既に検討が始められている会計学分野の教育力を提示し確認した。

3. 次回委員会

日程調整を改めて行い、6月に開催することにした。